

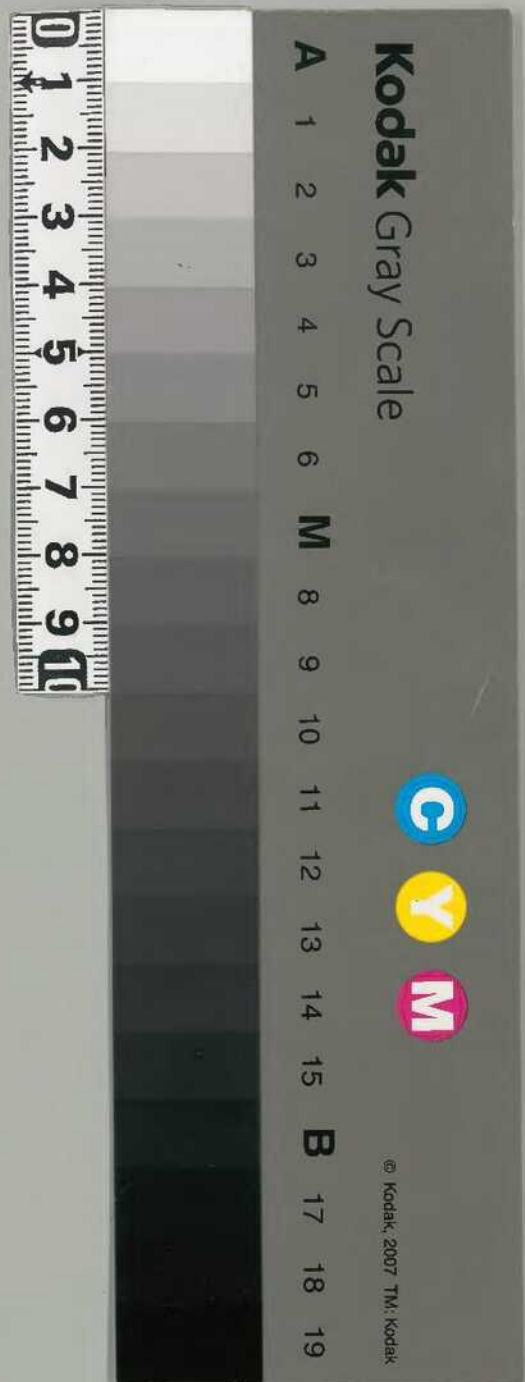
大乘院寺社雜事記

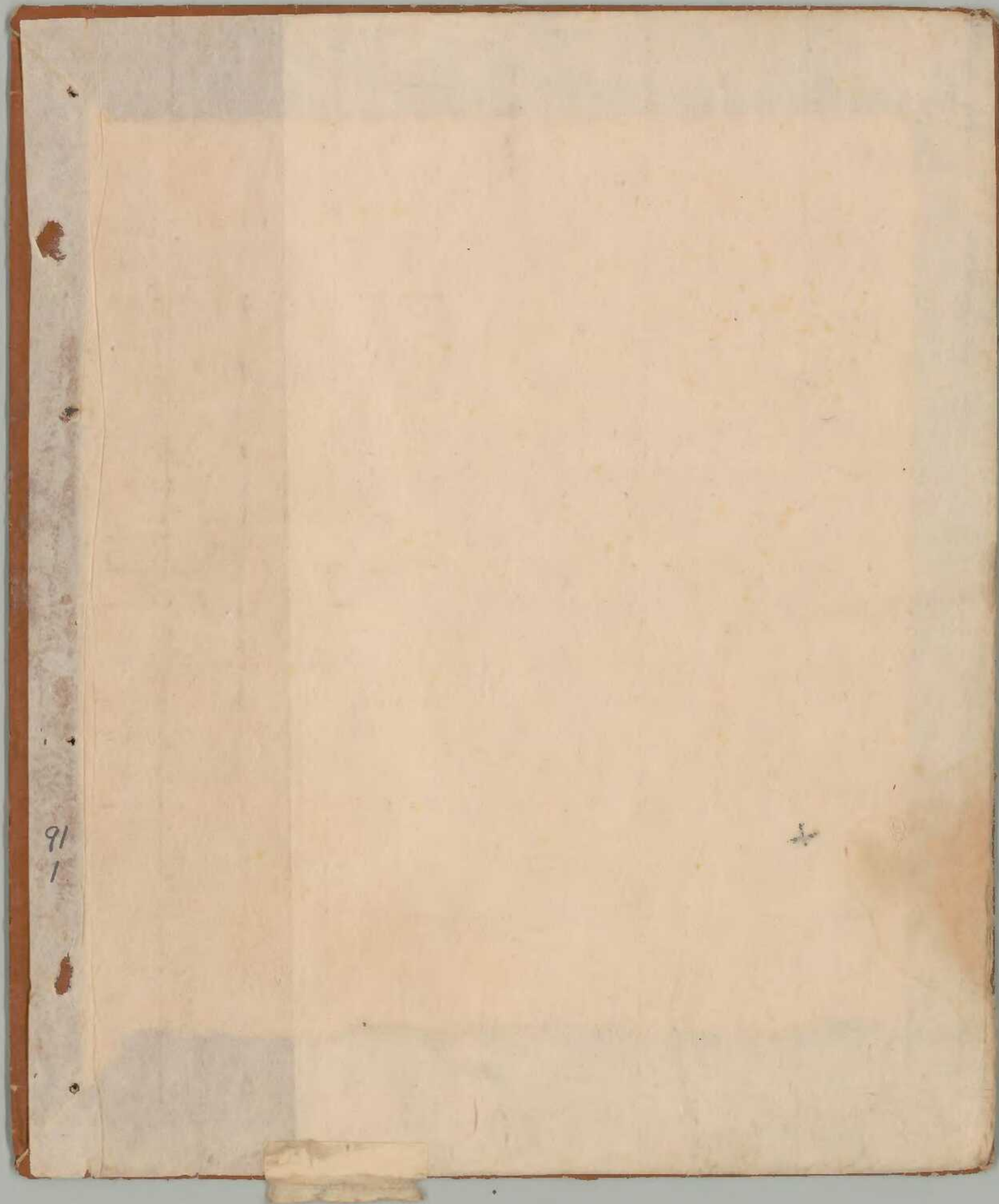
九十

内閣文庫
番號和 21122
冊數 168( 91)
函號古 27 514

古文書

二九函共二九〇  
五一四號





91  
1



二二〇ノ二

廿一八九

91  
2

文廟十六年正月日

寺社雜事記

第百五

寺社雜事記  
付院家  
權僧正房寺務

大乗院







高麗王... 西... 日

第百六  
寺社雜事記

竹濠家  
抄卷之第... 卷

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記



Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.



長壽寺別當

文明十六年御正月日記 雪下  
當今御在位二十年

長者亦在平政

興福寺別當

振別當

上牙法眼

振上牙法眼

寺藏法所

振寺之

振寺之

振寺之

新振寺之

多元

振世

必同別當

振世

或宗

Handwritten signature or notes at the bottom left.



將軍探領之

立於花街坊長

侍所大膳林

天下無事以之在命所成處皆其田之產者甚

前法大僧

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

一日所承子知真力

一 東路... 行向... 寺... 同... 一... 年... 寺...

一 小... 寺... 同...

一 田... 寺... 寺... 寺...

同... 寺... 寺... 寺...

一 恒... 寺... 寺... 寺...

一 日... 寺... 寺... 寺...

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*







一 行為成敗任其是、言者乘其、以力、  
相見人者、一、

一 多思念多、  
諸君、

一 自若、  
之、

一 同、  
之、

一 中、  
之、

一 中、  
之、

一 余、  
之、

一 口、  
之、

一 章、  
之、



1879年11月1日

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理

三日

一 家内事務の整理

一 家内事務の整理



二 易方玉通

一 卷言行以心者持理者以心者

妙法

一 日中無同共升之我玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 卷言行以心者持理者以心者

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

一 易方玉通

易方玉通



一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す  
 一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

他記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

別記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

一 功徳の事は別記に記す  
 別記に記す

別記に記す



Handwritten title or header in cursive script, possibly reading 'Tōmei no Kōron'.

一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...

Handwritten text in cursive script, possibly a section header or a specific entry.

一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...  
 一 予元平...



市戸針一トシヨリサシクセシ 今ニ百サ一

今二千ニ百サシクセシ 百十ニ百サ一

トシヨリサシクセシノサシクセシノサシクセシ

ニ百サ一ニ百サ一ノサシクセシ

市戸針一トシヨリサシクセシノサシクセシ

カニラサ一 今ニ百サ一

市戸針一トシヨリサシクセシノサシクセシ

一トシヨリサシクセシノサシクセシ

市戸針一トシヨリサシクセシノサシクセシ

今ニ百サ一

ノサシクセシノサシクセシ

カニラサ一

一トシヨリサシクセシノサシクセシ

市戸針一トシヨリサシクセシノサシクセシ

今ニ百サ一



同上書月より定むる所を以て其の計を以て記す

株一万二千八百株 式年七十八

シツ井六九板 式年七十八

ノミ板三十三板 式年七十八

右連子同三十三板 式年七十八

シツ井計百三十三板 式年七十八

三井又計四十八板 式年七十八

三ツ井計四十八板 式年七十八

右外より定むる所を以て其の計を以て記す

### 右の事

一 羽子一羽を以て其の計を以て記す

式年七十八

一 小井より申す所を以て其の計を以て記す

式年七十八

一 右連子より申す所を以て其の計を以て記す

一 高井より申す所を以て其の計を以て記す

式年七十八



一 諸君... 初二年...

一

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...

一 諸君... 諸君... 諸君...











一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一

一 一 一 一















# 唐

一 古唐史記 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

# 十

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

一 唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書

唐書 卷之四十五 唐書 卷之四十五 唐書







持不速之吉勢向之方が洋之弓に  
射是、打撃年久の申中、打撃

一 葉に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

一 叶事生し、打撃 年久の申中、打撃

ナリ

一 叶一、打撃 年久の申中、打撃

一 葉に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

一 大勢に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

一 大勢に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

一 大勢に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

一 大勢に推金影の 打撃 年久の申中、打撃

ナリ

一 叶事生し、打撃 年久の申中、打撃

一 叶事生し、打撃 年久の申中、打撃

一 叶事生し、打撃 年久の申中、打撃



一 昔者我亦... 昔田行内... 人岸田...  
 作公... 相... 下... 流...  
 (運...)

廿九

一 素... 方... 行... 京... 下...  
 一 三... 相... 行...  
 一 至... 下... 行...  
 一 未... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...

廿六

一 一... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...

一 一... 下... 行... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...  
 一 一... 下... 行... 下... 行...



Handwritten text in cursive script, likely a signature or header.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or recipient information.

Handwritten text in cursive script, possibly a title or main heading.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or address.



大同元年... 狀正列別...

一 蘇...

一 井...

一 省...

一 故...

一 山...

一 重...

一 大...

甘言

一 鴻...

一 言...

一 劫...

一 美...

甘言

一 揚...

一 空...

一 師...













二月五日

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用

一 漢字の運用



山本元行様ニ御座候

一 謹啟者及久二支の事

御座候事

御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事

一 御座候事



一 花山木ころろの中迄しと文所落着り庄記  
 切可く拙人たぐ存留中而此と今又共  
 入へ巡檢中此罪入う書亦由巡檢申候  
 多中一者一以老名中書~~...~~  
 其一回の書折折中~~...~~  
 之切月の中一又くは~~...~~  
 切~~...~~  
 一 學~~...~~  
 一 井~~...~~

一 以~~...~~  
 一 多~~...~~  
 一 老~~...~~

子

一 以~~...~~  
 一 三~~...~~  
 一 中~~...~~



一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...

一 道之入人... 木也... 人...  
...  
...  
...



Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.







六月廿四日

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞

張之洞



り

一 品新所底より浦北市流す 口中一花入

三河三ヶふり市 度二河法巻り

九河西二河法巻り 中河法巻り

そ文申事下見者前法巻り流す

浮の北一河一巻北市前中一河巻り流す

市一河古巻り流す

東河加北一河法巻り申事流す

新巻り申事申事流す

流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

中河一巻北市前中一河巻り流す

1114 AC







一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也

一 此等之書乃不若如 規身也







一 中記... 記述者之全則...  
 一 記述者之全則...  
 一 記述者之全則...  
 一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

布

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

又由下石...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...

一 記述者之全則...



一 晴行松井 津師 毎々 如く 又 多し  
此之 法 記 録 中 在 り ぬ

一 油 記 事 一 多 入 一 丈 十 三 寸 地 也  
十 五 寸

一 田 一 丈 一 寸 一 丈 一 寸

一 石 記 事 田 田 記 事

一 命 田 記 事 田 田 記 事 二 丈 一 寸

一 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸

上下 二三 寸 一 寸

一 命 田 記 事 田 田 記 事 一 寸 一 寸  
今 記 事

十 五 寸 一 寸

十 五 寸 一 寸

一 命 田 記 事 田 田 記 事 一 寸 一 寸







坊

一 晴正入服葉草 諸君の也

一 岸田書 以手之五部人 亦入 神樂

一 一 笑書下 三 品 又 作 也

一 岸田 三 言 命 之 井 及 亦 于 甚 因 名 及

一 可 比 而 岸 田 書 也 三 行 卷 之 是

一 考 念 也 三 行 卷 之 是

一 古 十 行 以 筆 下 行 海 原 河 事

一 事 爲 行 道 之 抄 及 中 時 書 也 是 也

一 去年 以 所 治 以 爲 所 治 一 行 也

一 別 爲 別 札 共 一 本

一 秀 川 之 終 有 三 秀 川 与 三 秀 川 正

一 庄 向 隆 一 三 行 之 亦 爲 抄 之 本

一 月 亦 与 三 秀 川 正 上 治 之 初

一 廿 三 之 活 一 古 信 札 亦 十 一 札 共 十

一 入 出 一 以 年 之 一 本

一 去年 一 年 之 一 亦 里 向 之 也

54







廿二日大雪下

一 此日市人も田舎へも出づれば一雨り道  
向ふ

廿三日

一 築港より西へ雪の降る中 岸へ及ぶ程  
ふらふら一途へく三ふらふら一途へ下りて  
雪の降る

一 小倉田七より一節を遠く下りて

他三三三三三三三三三三

一 検校の元用へり 雪の降る中 岸へ及ぶ程  
雪の降る 此の降る中 岸へ及ぶ程

廿四日

一 大雪の降る中 岸へ及ぶ程 雪の降る  
福徳寺へ下りて

一 坂東草へ下りて

一 三竹内坊へ下りて

248



廿五

一 湯之...

一 若...

一 其...

一 外...

一 勅...

一 堂...

一 其...

一 下...

廿六

一 河...

一 未...

一 地...

一 證...

一 今...

一 以...

一 明...

一 此...

Handwritten notes at the bottom left of the page.







時

一 劫後三子母之方後教之亦標別之法下流日才  
 三子才當才方有學を以て文則し用を世行  
 未三子之流を教へ此の教を傳へて教を二口由一  
 下行し一傳へて二口由一傳へて三口由一傳へて  
 四口由一傳へて五口由一傳へて六口由一傳へて  
 七口由一傳へて八口由一傳へて九口由一傳へて  
 十口由一傳へて十一口由一傳へて十二口由一傳へて  
 十三口由一傳へて十四口由一傳へて十五口由一傳へて  
 十六口由一傳へて十七口由一傳へて十八口由一傳へて  
 十九口由一傳へて二十口由一傳へて二十一口由一傳へて  
 二十二口由一傳へて二十三口由一傳へて二十四口由一傳へて  
 二十五口由一傳へて二十六口由一傳へて二十七口由一傳へて  
 二十八口由一傳へて二十九口由一傳へて三十口由一傳へて  
 三十一口由一傳へて三十二口由一傳へて三十三口由一傳へて  
 三十四口由一傳へて三十五口由一傳へて三十六口由一傳へて  
 三十七口由一傳へて三十八口由一傳へて三十九口由一傳へて  
 四十口由一傳へて四十一口由一傳へて四十二口由一傳へて  
 四十三口由一傳へて四十四口由一傳へて四十五口由一傳へて  
 四十六口由一傳へて四十七口由一傳へて四十八口由一傳へて  
 四十九口由一傳へて五十口由一傳へて五十一口由一傳へて  
 五十二口由一傳へて五十三口由一傳へて五十四口由一傳へて  
 五十五口由一傳へて五十六口由一傳へて五十七口由一傳へて  
 五十八口由一傳へて五十九口由一傳へて六十口由一傳へて  
 六十一口由一傳へて六十二口由一傳へて六十三口由一傳へて  
 六十四口由一傳へて六十五口由一傳へて六十六口由一傳へて  
 六十七口由一傳へて六十八口由一傳へて六十九口由一傳へて  
 七十口由一傳へて七十一口由一傳へて七十二口由一傳へて  
 七十三口由一傳へて七十四口由一傳へて七十五口由一傳へて  
 七十六口由一傳へて七十七口由一傳へて七十八口由一傳へて  
 七十九口由一傳へて八十口由一傳へて八十一口由一傳へて  
 八十二口由一傳へて八十三口由一傳へて八十四口由一傳へて  
 八十五口由一傳へて八十六口由一傳へて八十七口由一傳へて  
 八十八口由一傳へて八十九口由一傳へて九十口由一傳へて  
 九十一口由一傳へて九十二口由一傳へて九十三口由一傳へて  
 九十四口由一傳へて九十五口由一傳へて九十六口由一傳へて  
 九十七口由一傳へて九十八口由一傳へて九十九口由一傳へて  
 百口由一傳へて百一口由一傳へて百二口由一傳へて百三口由一傳へて  
 百四口由一傳へて百五口由一傳へて百六口由一傳へて百七口由一傳へて  
 百八口由一傳へて百九口由一傳へて百十口由一傳へて百十一口由一傳へて  
 百十二口由一傳へて百十三口由一傳へて百十四口由一傳へて百十五口由一傳へて  
 百十六口由一傳へて百十七口由一傳へて百十八口由一傳へて百十九口由一傳へて  
 百二十口由一傳へて百二十一口由一傳へて百二十二口由一傳へて百二十三口由一傳へて  
 百二十四口由一傳へて百二十五口由一傳へて百二十六口由一傳へて百二十七口由一傳へて  
 百二十八口由一傳へて百二十九口由一傳へて百三十口由一傳へて百三十一口由一傳へて  
 百三十二口由一傳へて百三十三口由一傳へて百三十四口由一傳へて百三十五口由一傳へて  
 百三十六口由一傳へて百三十七口由一傳へて百三十八口由一傳へて百三十九口由一傳へて  
 百四十口由一傳へて百四十一口由一傳へて百四十二口由一傳へて百四十三口由一傳へて  
 百四十四口由一傳へて百四十五口由一傳へて百四十六口由一傳へて百四十七口由一傳へて  
 百四十八口由一傳へて百四十九口由一傳へて百五十口由一傳へて百五十一口由一傳へて  
 百五十二口由一傳へて百五十三口由一傳へて百五十四口由一傳へて百五十五口由一傳へて  
 百五十六口由一傳へて百五十七口由一傳へて百五十八口由一傳へて百五十九口由一傳へて  
 百六十口由一傳へて百六十一口由一傳へて百六十二口由一傳へて百六十三口由一傳へて  
 百六十四口由一傳へて百六十五口由一傳へて百六十六口由一傳へて百六十七口由一傳へて  
 百六十八口由一傳へて百六十九口由一傳へて百七十口由一傳へて百七十一口由一傳へて  
 百七十二口由一傳へて百七十三口由一傳へて百七十四口由一傳へて百七十五口由一傳へて  
 百七十六口由一傳へて百七十七口由一傳へて百七十八口由一傳へて百七十九口由一傳へて  
 百八十口由一傳へて百八十一口由一傳へて百八十二口由一傳へて百八十三口由一傳へて  
 百八十四口由一傳へて百八十五口由一傳へて百八十六口由一傳へて百八十七口由一傳へて  
 百八十八口由一傳へて百八十九口由一傳へて百九十口由一傳へて百九十一口由一傳へて  
 百九十二口由一傳へて百九十三口由一傳へて百九十四口由一傳へて百九十五口由一傳へて  
 百九十六口由一傳へて百九十七口由一傳へて百九十八口由一傳へて百九十九口由一傳へて  
 百口由一傳へて

一 河全名乃多ノ一文字也

一 此亦亦夢之仁言乃後乃重なりて  
 其言乃時事也



三月小部り代ふ 地振

一 浦守仁王様方御新御書 奉交 万命人  
名代方二言先

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

一 浦守一守方わし御新御書 奉交

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

天台宗御書 奉交

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

一 浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

白書代りわし御新御書 奉交 万命人

浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人

浦守一守方わし御新御書 奉交 万命人







一 川名五ノ様様様様

一 芳武中各次河清時... 諸君之助役也  
書名天橋女ノ音留ノ同所也

甲

乙

一 酒名三乃乃ノ... 諸君之助役也

一 刻々大鐘寺... 諸君之助役也

一 諸君之助役也... 諸君之助役也

一 諸君之助役也... 諸君之助役也

丙

一 諸君之助役也... 諸君之助役也

一 諸君之助役也... 諸君之助役也

諸君之助役也



古

一 湯子子乃 湯子子乃

一 湯子子乃 湯子子乃

一

一 湯子子乃 湯子子乃

一 湯子子乃 湯子子乃

湯子

一 湯子子乃 湯子子乃

日 湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃 湯子子乃

湯子子乃



中下ノ家々あり 幕ノ一ニて一ノ  
等一ノ等ノノ等ノ田家ニ成ル  
夫ノ精子ニ一ニを子ニ

一 此高田田州一ノ子ニ一ノ此州ノノノ  
中ノ此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
此高田州ノ一ノ此高田州ノ

一 楊子老五ノ精子ニ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ

カ

一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ  
一 此高田州ノ一ノ此高田州ノ



多田五三郎 同前 諸君より其方を承りて  
下及不承 如可し

一 豊後守 功徳院 諸君より其方を承りて  
中子より同中 何に立証 御用申付 承り  
至り又承り 中子

一 言中 諸君より其方を承りて 洛北 五三郎  
五三郎より其方を承りて

此 五三郎より其方を承りて

十口 東  
此 五三郎より其方を承りて

此 五三郎より其方を承りて

十口

一 鴻一 五三郎より其方を承りて

一 五三郎より其方を承りて

一 五三郎より其方を承りて

一 五三郎より其方を承りて

一 五三郎より其方を承りて

此 五三郎より其方を承りて



三十一  
江戸の町を歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば

十方

一 江戸の町を歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば

江戸の町を歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば

一 上北町は歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば

十三方

江戸の町を歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば

一 江戸の町を歩くと半しは女の子が  
中り世多かりけり口はしは遠くへ  
の所へ入れば三月は女の子が  
三月旬の時を一日作らば







別々なる事あり

一 云 然り或は月夜に出りて此布(一) ;  
出てもあかす(一) 事(一) 中(一) 事(一) 作(一) 事(一) ;  
由(一) 出(一) 事(一) あり(一) 事(一) 事(一) 事(一) ;  
月(一) 事(一) 事(一) ;

十号

一 云 小倉野(一) 事(一) 事(一) ; 松(一) 中(一) 野(一) ;  
事(一) 事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) ;  
西(一) 桂(一) 里(一) 船(一) 路(一) ; 西(一) 方(一) 号(一) 事(一) 事(一) 事(一) ;

松(一) 尾(一) 池(一) 事(一) ; 一(一) 乙(一) 本(一) 井(一) 川(一) 船(一) 路(一) ; 一(一) 号(一) ;  
下(一) 通(一) 号(一) ; 一(一) 号(一) 事(一) 事(一) ;

十一号

一 云 事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) ;  
事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) ;  
事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) ;  
事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) 事(一) ; 事(一) 事(一) ;



一 身 痛 り の 名 不 中 計 一 糸 言  
多 知 証 少 才 不 言 以 口 二 名 言 一 事  
甘 芳 以 結 証 一 事 言 以 解 苦 一 只 甘  
此 亦 二 事 功 一 一 物 十 病

十 病 一 津 口 物

一 自 今 晚 大 雨 下 日 中 結 下 二 物 十 病  
二 事 及 上 折 物 亦 不 可 也 然 花 香 入  
大 洞 以 方 上 極 也 若 若 入 以 爲 心 十 病

此 者 一 事 亦 不 可 也 然 花 香 入 以 爲 心 十 病  
第 日 早 一 丈 大 洞 通 二 事 及 上 折 物 亦 不 可 也

廿 一

一 亦 功 一 田 元 多 病 後 箇 社 法 水 言 三 事 者  
知 此 指 言 丸 入 道 可 原 才 一 心 事 一 二 事 三 事  
多 事 一 入 内 淨 一 事 一 心 事 一 二 事 三 事  
此 者 亦 功 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事  
諸 病 亦 功 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事  
別 年 一 事 亦 功 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事 一 事



政才二四九  
保邦の才持向一  
多事連連二  
如常事子の袖本時

苦

一 一  
一 一  
一 一  
一 一

一 一  
一 一  
一 一  
一 一

廿五

一 一  
一 一  
一 一  
一 一



# 廿三 八回

一 北園亭立の支那の松林上或平之別中

仙皇之早夜

定著

藤原 高家

仙皇之早夜

定著

藤原 高家

一 東の巨匠

一 西の巨匠

一 東の巨匠

一 西の巨匠

一 東の巨匠

一 西の巨匠

## 廿四

一 浦島太郎

一 浦島太郎

一 浦島太郎

一 浦島太郎







W. C. Gilman

1863

Dear Sir

I have the honor to acknowledge the receipt of your letter of the 14th inst.

and in reply to inform you that the same has been forwarded to the proper authorities for their consideration.

I am, Sir, very respectfully,  
Your obedient servant,

W. C. Gilman

Secretary of the Board of Commissioners

of the District of Columbia

Washington

14th Nov 1863

Enclosed you will find a copy of the report of the Board of Commissioners on the subject of the proposed extension of the public works of the District of Columbia.

I am, Sir, very respectfully,  
Your obedient servant,

W. C. Gilman

Secretary of the Board of Commissioners

of the District of Columbia

Washington

14th Nov 1863

Enclosed you will find a copy of the report of the Board of Commissioners on the subject of the proposed extension of the public works of the District of Columbia.

I am, Sir, very respectfully,  
Your obedient servant,  
W. C. Gilman